卒業論文　　2015年度 (平成27年)

Meetupにおけるプレゼンテーション記録形式の設計と  
その記録・再生システムの実装

慶應義塾大学 環境情報学部  
氏名：髙橋 俊成

卒業論文要旨 - 2015年度 (平成27年度)

Meetupにおけるプレゼンテーション記録形式の設計と  
その記録・再生システムの実装

本研究では、Meetupにおけるプレゼンテーションのアーカイブデータを生成・再生できるようにするために、プレゼンテーションアーカイブフォーマットを設計し、それを実際に生成・解釈するプレゼンテーションシステムを構築した。

Meetupとは、共通の趣味やテーマで緩やかに繋がるWEBコミュニティーのメンバーが、知見共有や人間交流を目的として行うカジュアルな勉強会・交流会である。Meetupではプレゼンテーションによってコミュニティーにとって有意義な情報交換が行われている一方で、その記録作業は参加者個々人の自発的・自主的な活動に頼りきっており、保存先や形式がバラバラでまとまったアーカイブが行われていない現状がある。

本研究では、Meetupにおけるプレゼンテーションの様々な要素をまとめて記録するための要件を整理し、それらを満たすアーカイブフォーマットを設計した。そして、そのフォーマットでプレゼンテーションを記録・再生できるシステムをWEB標準技術を用いて実装し、実証実験を実施した。

本研究により、Meetupにおけるプレゼンテーションのアーカイブが実現し、再生が可能であることを確認した。

キーワード：

1. アーカイブ,　2. プレゼンテーション,　3. Meetup,　4. WEB標準技術

Abstract of Bachelor’s Thesis

[ToDo]

目次

[第1章 はじめに 7](#_Toc438158087)

[**1-1.** **背景** 7](#_Toc438158088)

[**1-2.** **課題** 7](#_Toc438158089)

[**1-3.** **本研究の目的** 7](#_Toc438158090)

[**1-4.** **用語定義** 8](#_Toc438158091)

[**1-5.** **本論文の構成** 8](#_Toc438158092)

[第2章 Meetupにおけるプレゼンテーションの分析 9](#_Toc438158093)

[第3章 Meetupにおけるプレゼンテーションアーカイブの現状 9](#_Toc438158094)

[第4章 Meetupにおけるプレゼンテーションの構成要素 9](#_Toc438158095)

[第5章 プレゼンテーションアーカイブフォーマットの設計 9](#_Toc438158096)

[第6章 プレゼンテーション記録・再生システムの設計と実装 9](#_Toc438158097)

[第7章 実証実験 9](#_Toc438158098)

[第8章 評価 9](#_Toc438158099)

[第9章 結論 9](#_Toc438158100)

[謝辞 9](#_Toc438158101)

[付録 9](#_Toc438158102)

図目次

[ToDo]

表目次

[ToDo]

1. はじめに
   1. **背景**

インターネットコミュニティーは情報通信技術の発達とともに登場し、今日まで発展してきた。古くはメーリングリストやIRCで、現在ではSNSで、活発な非対面・テキスト主体のコミュニケーションが行われてきた。これは同じ趣味やテーマによって緩やかに繋がる同質性の高いコミュニティーである。

WEBコミュニティーのメンバーは時々、密なコミュニケーションを求めてMeetupと呼ばれるオフラインイベントを開催することがある。Meetupは、知見共有・人間交流を目的とした対面・リアルタイムのカジュアルな勉強会・交流会で、参加者のうち数人が発表者としてプレゼンテーションを行うスタイルが一般的である。聴衆側の参加者は、発表後の質疑応答のほか、発表中に同時進行的にマイクロブログサービスへ感想や意見を投稿するなどして発表者および他の聴衆とコミュニケーションをとる。

* 1. **課題**

現在、Meetupにおけるプレゼンテーションは、発表者が使用スライドをスライド共有サービスに投稿したり、参加者が発言記録や当日の感想をウェブログ等に掲載したりすることでアーカイブされる。しかし、それらはすべて参加者の自発的・自主的な取り組みであり、保存場所や保存形式は人それぞれで、そもそも記録が行われないことも少なくない。Meetupの告知・参加調整を手助けするWEBサービスは古今東西にあるが、そこで行われた有意義なプレゼンテーションやディスカッションを記録する環境が整備されているとは言い難い。

無数のMeetupが日々世界中で開催され有意義な情報交換が行われていながら、それらが記録され共有されないのはWEBコミュニティーのみならず社会全体にとって大きな損失である。

* 1. **本研究の目的**

本研究では、Meetupにおける質疑応答を含めたプレゼンテーションのアーカイブが積極的に行われていない原因として、アーカイブフォーマットに着目する。

本研究では、Meetupにおける質疑応答を含めたプレゼンテーションのアーカイブフォーマットを定め、実際にそれを生成・解釈できるシステムを構築することで、質疑応答を含めたプレゼンテーションのアーカイブデータの作成環境を構築する。

* 1. **用語定義**

本節では、本論文中で用いられる主な用語を定義する。

Meetup（ミートアップ）

主にWEB上で活動するコミュニティーのメンバーが、知見・意見共有と人間交流を目的として行うカジュアルな勉強会や交流会。参加者のうち数人が発表者となりプレゼンテーションを行う。発表内容は、後日発表者によって任意にオンライン公開され、WEBコミュニティーに共有されることがある。

WEBコミュニティー

主にWEB上で活動する非組織的なコミュニティー。共通の趣味・テーマなどの情報共有・意見交換・人間交流を主な目的に、緩やかに繋がっている。

* 1. **本論文の構成**

2章ではMeetupとそこで行われるプレゼンテーション文化について整理し、問題解決のためのアプローチを提案する。3章ではMeetupプレゼンのアーカイブ達成状況について分析する。4章ではMeetupプレゼンで共有される情報を抽出し、インタラクションの性質によって分類する。5章では前章までの分析に基づいてMeetupプレゼンのアーカイブに必要な機能要件について論じ、アーカイブフォーマットを設計する。6章では前章のデータフォーマットを作成・解釈できるmeetupプレゼン記録・再生システムを設計・構築し、実装について述べる。7章では本システムを用いた実証実験について述べ、8章でその評価を行う。9章では結論と今後の課題について述べる。

1. Meetupにおけるプレゼンテーションの分析
2. Meetupにおけるプレゼンテーションアーカイブの現状
3. Meetupにおけるプレゼンテーションの構成要素
4. プレゼンテーションアーカイブフォーマットの設計
5. プレゼンテーション記録・再生システムの設計と実装
6. 実証実験
7. 評価
8. 結論

謝辞

付録